

# 株式学習ゲームを「夏季休業中の課題」に活用できる取り組みの提案

応援したい会社を調べて発表しよう！私たちの応援したい会社

時間数：4～5時間

株式学習ゲームに新たに取り組む場合は、説明に1時間必要。

分野：公民

## 指導要領との関連

～私たちと経済～

- ・具体的な事例を通して経済的な見方・考え方の基礎を養う。
- ・社会における企業の役割と責任について考えさせる。
- ・様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、適切に表現する能力と態度を養う。

## 目的・ねらい

具体的な会社調べを通して、関連する資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、会社にとどまらず社会全体にとって「最も望ましい選択（最良の選択）」を提案させる。

家計の消費活動から発展させ、生産・流通などを担う企業の活動に関心を向けさせる。その際、身近な会社を一つ取り上げ（この会社のことを以後「応援したい会社」と記述する）くらしとの関わりから企業の役割や社会的責任について考えさせることで、経済活動全般に対する興味・関心・意欲を高める。

具体的には、夏季休業中の比較的余裕のある時間を活用し、おもに次の3点の学習に取り組む。

1. 現地（店舗・会社）へ訪問し、取材（観察・調査・聞き取りなど）を実施
2. 新聞やテレビで、応援したい会社に関連する記事・ニュース・株価の動き等を収集
3. 調査内容の分析→課題を設定→解決のための提案を考察

その際、環境への取組みやメセナ（文化・芸術活動に対する企業の支援）などにも注目させ、企業の社会的責任・社会貢献に眼を向けさせる。これらを踏まえ、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し整理したうえで、報告書にまとめ発表させ理解を深めさせる。

## 学習目標

### 1. 調査活動を基に考察する

身近な会社の観察・調査・聞き取りなどの活動を基に、私たちのくらしと企業との関わりについて考察する。その際、調べる会社を分析するためのフィルターとして同業他社との比較を活用しさらに理解を深める。

## 2. 株式学習ゲームに参加し活用することで、体験的に理解する

株式学習ゲームに参加し、応援したい会社の株式を購入し、その株価の動きを夏期休業中に見つめていくこと（夏期休業中に取引が可能になれば、取引した理由などをメモとして記録し積極的に参加することも可能になる）、さらに夏期休業後に再度株式学習ゲームに参加すること、さらに応援したい会社や経済・社会全般に関する新聞・テレビなどの記事・ニュースについて収集活動を行うことで、応援したい会社を取り巻く社会的・経済的事象を多面的・多角的・体験的に理解する。

## 3. 課題を設定し発表する

自ら課題を設定し、解決のための提案をコンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し、わかりやすく整理した報告書（または、パワーポイント）を作成し発表する。

## 4. 社会における企業の社会的責任・社会貢献について理解を深める

調査活動や報告書の作成・発表においては、環境問題や女性の登用、メセナなどの問題に積極的に取り組んでいる企業に注目し、企業の社会的責任・社会貢献について理解を深める。

## 授業展開のイメージ



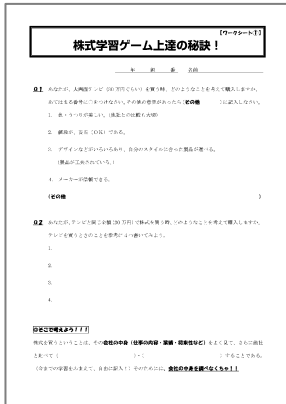
### 評価の観点

1. 応援したい会社に関する課題を積極的に設定し解決しようとしているか。（関心・意欲・態度）
2. 課題解決のために、多面的・多角的に考察することができたか。（思考・判断）
3. 取材を通して適切な情報を収集し整理できたか。新聞・テレビの記事やニュースなどから必要な情報が収集できたか。（資料活用）
4. 自分の意見をまとめ内容をわかりやすく伝えることができたか。（技能・表現）
5. 具体的な事例を通して経済的な見方・考え方の基礎となる知識・概念を理解することができたか。（知識・理解）

## 第1時 応援したい会社を決定

使用する教材

- ・ワークシート①「株式学習ゲーム上達の秘訣」
- ・参考資料「会社四季報」



(ワークシート①)

### ねらい

家計の消費活動から発展させ、生産・流通などを担う企業の活動に関心を向けさせる。その際、「応援したい会社」の取材活動を通して、くらしとの関わりから企業の役割や社会的責任について考えさせることで、経済活動全般に対する興味・関心・意欲を高める。

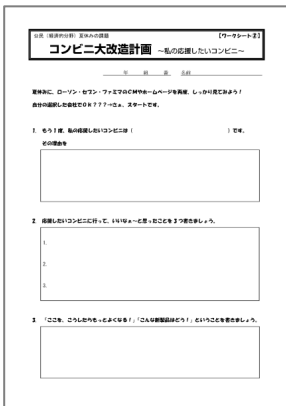
### 本時の展開

1. 知っている会社を黒板に自由に書き、それを業種別に分ける。
2. ワークシート①を記入し、会社調べの方法・考え方を理解する。
3. ワークシート①の4つの観点を踏まえて、私たちのくらしと関わりの深い業種を選び、そのなかで比較検討させ、応援したい会社を決定する。

## 第2時「応援したい会社」に2つの方法でアプローチ

使用する教材

- ・株式学習ゲーム
- ・ワークシート②「コンビニ大改造計画」または、株式学習ゲーム【私たちの応援したい会社】



(ワークシート②)

### ねらい

1. 「夏期休業中の課題」の取り組みについて、次の2点を理解する。  
(1) 夏期休業中の時間を利用して、現場（会社や店舗）に足を運び実際に取材をし、さらに同業他社との比較検討を通して報告書（ワークシート②）をまとめる。  
(2) 応援したい会社に関わる新聞・テレビなどの記事・ニュースなどを夏期休業中適切に収集・整理し、報告書（ワークシート②）作成に活用する。
2. 応援したい会社の株式を中心に株式学習ゲームに参加することで、ゲームでの学習内容の焦点化を図り、あわせて日経平均株価・東証TOPIXなどの株価全体に関わる動きに注目させることで多面的・多角的に理解を深める。

### 本時の展開

1. 「夏期休業中の課題」について、どのように取り組んだらよいのかを理解する。
2. 株式学習ゲームに参加することで、調査活動以外で応援したい会社へアプローチする方法を知る。
3. ワークシート②（ここではコンビニ調べ）の記入の仕方について理解する。

## 第3～4時 事後学習報告書（パワーポイント）の作成・発表について

使用する教材

- ・報告書（パワーポイント）

夏期休業中に記入したワークシート②を基にレポートを作成し発表する。

コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し、わかりやすく整理した報告書（または、パワーポイント）を作成し発表する。

## 第1時 夏季休業中の課題についての事前学習①

### 応援したい会社を決定

#### 準備するもの

- ・ワークシート①「株式学習ゲーム上達の秘訣」
- ・参考資料「会社四季報」

#### ねらい

家計の消費活動から発展させ、生産・流通などを担う企業の活動に関心を向けさせる。その際、身近な会社を取り上げ、くらしとの関わりから企業を考えさせ、経済活動全般に対する興味・関心・意欲を高める。

#### 本時の展開

① 知っている会社を黒板に自由に書き、それを業種別に分ける。

② ワークシート①を記入し、会社調べの方法・考え方を理解する。

③ ワークシート①の4つの観点を踏まえて、わたしたちのくらしと関わりの深い業種を選び、そのなかで比較検討させ、応援したい会社を決定する。

学習内容	学習活動	指導上の留意点
● 知っている会社名を黒板に書く。	● 自由に各自が知っている会社名を黒板に書いていく。	● 言葉つなぎや、しりとりなどを使ってゲーム性を持たせるような工夫も活用する。
● 自動車会社（輸送機器）・コンビニ（小売業）というように業種ごとに分けてノートに整理する。	● 黒板に書かれた会社の製品やサービスを考え、業種ごとに整理する。	● 業種がわからないときには、新聞の株式欄を資料として配布し、活用させる。
● ワークシート①を記入する。	● 株式についての学習を振り返り、さらに会社調べについて理解するためワークシートに記入する。	● ワークシート①の手順に従って会社調べの方法・考え方を理解させる。
● 会社選びの4つの観点を踏まえて、応援したい会社を決定する。	● わたしたちのくらしと関わりの深い業種をまず選び、その中の数社を比較検討し応援したい会社を決定する。	● ワークシート①で取り上げた応援したい会社選びの4観点を踏まえ決定させる。

## 第1時 夏季休業中の課題についての事前学習①

ワークシート①「株式学習ゲーム上達の秘訣」  
～ワークシート利用法～

## ポイント①

お金を使う時（ここでは30万円の大画面テレビを購入）どのような点について考慮するかをヒントに、株式についても身近に引き寄せて考えさせましょう。

株式学習ゲームでは、どの会社の株式を選ぶかが生徒にとっては、最も難しいことのひとつです。その手助けとして、ワークシート①のような身近なアプローチから「株式とは？」という根本に立ちかえって、株式を見つめる眼を育てることを主眼としましょう。

【ワークシート①】

**株式学習ゲーム上達の秘訣！**

年 組 番 名

**01** あなたが、大画面テレビ (30万円程度) を買う時、どのようなことを考えて購入しますか、高くてはるる商品に決まらなければ、その裏の意思があったら**（その値）**に記入しなさい。

1. 色・大きさの好み。(同じ色の値段も決まる)
2. 機能が、又は「OK」である。
3. デザインなどがいいものあり、自分のスタイルに合った商品の選べる。  
(商品が気に入っている。)
4. メーカーが信頼できる。

**（その値）** \_\_\_\_\_ )

**02** あなたが、テレビと同じ金額(30万円)で株式を買った時、どのようなことを考えて購入しますか、テレビを買うときのことと参考にして書いてみよう。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

**◎どこで考えよう!!!**

株式を買うということは、その**会社の前身（仕事の内容・業績・将来性など）**をよく見て、さらに**株主と比べて（** \_\_\_\_\_ ) **）**をみることである。  
(今までの学習をふまえて、自由に記入し！) そのためには、**会社の出身を調べなくちゃ!!!**

(ワークシート①) 1ページ目

**02** 会社調べのポイントについてまとめた( \_\_\_\_\_ )があとはまる読みを渡さない。

1. どのような( \_\_\_\_\_ ) ( \_\_\_\_\_ )を製造・販売しているのか。  
2. 会社の最大の目的である( \_\_\_\_\_ )はいつからいつまでか。  
3. ( \_\_\_\_\_ )と比べてどうなのか、強みや、すぐれている点。  
4. 株主はどれくらいか、たとえば、( \_\_\_\_\_ )は、いつ販売か、研究開発費は多いか。  
5. 株主の( \_\_\_\_\_ )は、( \_\_\_\_\_ )は、( \_\_\_\_\_ )などに取り組み、社会的責任を果たそうとしているのか、また解決しようとしているか。  
**(自分もよく読んでいこう！会社は、最後は見るぞ!!!)**

**上の1～5を調べた後（一つの例で、上の1→1に対応）**

- I. ネット( \_\_\_\_\_ )会社のホームページ・会社のパンフレット
- II. 会社員の間
- III. ネット( \_\_\_\_\_ )いろいろな会社のホームページ・会社員の間
- IV. 新聞・会社新聞・会社員の間
- V. 新聞・ネット( \_\_\_\_\_ )会社のホームページ・会社のパンフレット・会社員の間

**これから自分なりに調べて、もっとこのゲームを面白くしよう。**

**課題: 調べた内容をまとめて会社をさがそう!**

ただし、次の**4つの観点**をしっかりと満たしている会社から選ぶこと。

- ① 私たちの暮らしと関わりが深い会社であること(コンビニ・ゲーム機・携帯電話会社・自宅に所有する自動車の会社など)
- ② 実際に会社や店舗を訪問できること(工場・会社内博物館などが見学できる会社もある)
- ③ 実際に会社で活躍や訪問できること(工場・会社内博物館などが見学できる会社もある)
- ④ 同じような会社が何社あること(同業他社の比較ができる)
- ⑤ 改善のためのアイデアを提案できるような会社であること(事業内容が把握しやすい)

私の探した(株)会社

(ワークシート①) 2ページ目

## ポイント②

応援したい会社を決める際には、次の4つの観点をしっかりと満たしている会社から選び出すことで、夏期休業中の生徒の活動をよりスムーズなものにします。

1. 私たちの暮らしと関わりの深い会社であること—コンビニ・ゲーム機・携帯電話会社・自宅に所有する自動車の会社など
2. 実際に会社や店舗を訪問できること—現場を取材できる(工場・会社内博物館などが見学できる会社もある)
3. 同じ業種の会社が身近にあること—同業他社の比較ができる
4. 改善のためのアイデアを提案できるような会社であること—事業内容が把握しやすい

## 第2時 夏季休業中の課題についての事前学習②

### ～「応援したい会社」に2つの方法でアプローチ～

#### 準備するもの

- ・株式学習ゲーム
- ・ワークシート②「コンビニ大改造計画」

#### ねらい

1. 「夏期休業中の課題」の取り組みについて、次の2点を理解する。
  - (1) 夏期休業中の時間を利用して、現場（会社や店舗）に足を運び実際に取材をし、さらに同業他社との比較検討を通して報告書（ワークシート②）をまとめる。
  - (2) 応援したい会社に関わる新聞・テレビなどの記事・ニュースなどを夏期休業中適切に収集・整理し、報告書（ワークシート②株式学習ゲームでは、どの会社の株式を選ぶかが生徒にとっては、最も難しいことのひとつです。その手助けとして、ワークシート①のような身近なアプローチから「株式とは？」という根本に立ちかえって、株式を見つめる眼を育てることを主眼としましょう。）作成に活用する。
2. 応援したい会社の株式を中心に株式学習ゲームに参加することで、ゲームでの学習内容の焦点化を図り、あわせて日経平均株価・TOPIXなどの株価全体に関わる動きに注目させることで多面的・多角的に理解を深める。

#### 本時の展開

① 「夏期休業中の課題」について、どのように取り組んだらよいかを理解する。

② 株式学習ゲームに参加することで、調査活動以外で応援したい会社にアプローチする方法を知る。

③ ワークシート②（コンビニ調べ）の記入の仕方について理解する。

学習内容	学習活動	指導上の留意点
● 夏期課題の内容について知る。	● 次の2点の取り組みを理解する。 (1) 現場（会社や店舗）に足を運び実際に取材をし、さらに同業他社との比較検討を通して報告書をまとめる。 (2) 応援したい会社に関わる新聞・テレビなどの記事・ニュースなどを夏期休業中適切に収集・整理し、報告書作成に活用する。	● 現地取材のルールについて説明し理解させる。
● 応援したい会社の株式を中心に「株式学習ゲーム」に参加する。	● 応援したい会社の株式を「株式学習ゲーム」で、購入する。そしてその株価の動きを夏休み中に調べることを知る。 ● 日経平均株価など株価全体の動きに注目し関連する記事などを集めることを知る。	● 応援したい会社の株式に焦点化を図り、加えて日経平均株価など株価全体の動きに注目することで多面的・多角的に理解を深めさせる。

学習内容	学習活動	指導上の留意点
● ワークシート②の記入について知る。	● 夏期休業中にどのようにワークシート②を記入したらよいのかを理解する。	● ワークシート②の手順に従って、調査をまとめ報告書作成の原案とさせる。
● 夏期休業終了後プレゼンテーションを行うことを知る。	● ワークシート②の手順に従って、調査内容を整理し報告書を作成し、パワーポイントでプレゼンテーションを行うことを知る。	● パワーポイントのプレゼンテーションによって最終の評価がなされることを伝えておく。

## 活用する

### 第2時 夏期休業中の課題についての事前学習② ワークシート②「コンビニ大改造計画」 ～ワークシート利用法～

#### ポイント①

公民（経済的学科）夏休みの課題 【ワークシート②】

**コンビニ大改造計画** ～私の応援したいコンビニ～

年 級 課 名 姓 名

夏休みに、ローソン・セブン・ファミマのCMやホームページを再度、じっくり見てみよう！  
自分の応援したい会社でOK？？？さよ、スタートです。

1. もう1度、私の応援したいコンビニ（ ）です。  
その理由を

2. 応援したいコンビニに行って、いいポイントと思ったことを3つ書きましょう。

3. 「ここを、こうしたらもっとよくなる！」「こんな改善案はどう！」といふことを書きましょう。

(ワークシート②) 1ページ目

#### 同業他社との比較検討をさせましょう。

まず、同業他社のホームページをいくつか閲覧させ、比較検討させてから応援したい会社を決定させましょう。その際には、会社の製品・サービス以外に、環境問題への取り組み、メセナなど社会的責任・貢献についてのページに眼を向けさせ、会社全体の魅力を評価する姿勢を身につけさせましょう。

#### ポイント②

現地取材では、よい点（今後も成長していけると思われること）と、改善点（課題となりそうなこと、解決していかなければならないこと）の2点に注目させましょう。

応援したい会社を決定したプロセスを大事に、よい点・成長してきた点にまず焦点を当てて調べさせてください。その上で、さらに成長するには、どのような課題があるのかをしっかりと考えさせることが重要です。そこから自ら課題を設定し解決しようとする態度が育っていくのです。この学習のメインは、この課題解決学習にあります。







## 事後学習①・②報告書（パワーポイント）の作成・発表について

### 準備するもの

- ・報告書（パワーポイント）

夏季休業中に記入したワークシート②を基にレポートを作成し発表する。

コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用し、わかりやすく整理した報告書（またはパワーポイント）を作成し発表する。

学習内容	学習活動	指導上の留意点
●先生のプレゼンをみて参考にする。	●自分の記入したシートを基に作成する「大改造計画」の画面の割り振りを考える。	●パワーポイントは、4～5枚の画面で作成するように指示をし、ページ割を考えさせる。
●自分のプレゼンを作成する①（1～2時間）。	●自分が考えた「大改造計画」をパワーポイントを使い表現する。	●コンピュータの技能を活用し、どのように表現したらよいかを工夫させる。
●作品を発表する②（1時間）。	●わかりやすく伝える工夫をする。	●他者の作品を参考に、自分の考えや、伝えようとしたことが、十分伝わったかを、各自の作品を振り返らせ、考えさせる。

### 指導計画での位置付け

この学習が「夏季休業中の課題」という設定であることから

参考例 帝国書院「中学生の公民」第3章 企業を通して経済を考えよう

『P52③企業をつくるということは - 株式会社のしくみ』まで学習が終わっていれば、「夏季休業中の課題」として適切である。

つまり授業で企業についての学習、特に株式を扱っていれば、「夏季休業中の課題」として、ふさわしい内容である。

## こんなときは？FAQ

授業の進め方や指導法についての疑問をまとめてみました。

Q 企業は、容易に会社訪問を受け入れてくれますか？

A **会社訪問を受け付けること自体が「社会貢献」であると考えている企業がきっと近くにあります。**  
インターネットで応援する会社のホームページを徹底的に研究した後、「国語便覧」を参考にして、「応援したい会社」として訪問したい旨を手紙に書き、担当部署・担当者のメールアドレス等を教えていただき、メールでやり取りするのがよいでしょう。先方に失礼があってはいけませんので生徒任せにしないことも重要です。

Q 調査の際、多くの生徒が店舗や会社に行くと迷惑になるのではないのでしょうか？

A **事前に対象になっている店舗や会社には、可能な限り先生から連絡をして了解を得てください。**  
会社によっては、日時を決めて説明会を開いてくれるところもあります。また、訪問・取材（特に聞き取り）のルールを必ず事前に生徒に徹底しましょう。

Q 発表が苦手な生徒がいます。どうしたらよいのでしょうか？

A **発表が苦手だったはずの生徒が、素晴らしい発表をすることがあります。**  
報告書の読み上げではなく、極力パワーポイントで作成させ、内容を分かりやすく図や表にまとめることで聞き手の関心を引き付け、素晴らしい発表になり、多くの生徒が人前でのプレゼンに自信を持つようになります。ぜひ取り組んでみてください。

Q ワークブック【私たちの応援したい会社】はどこで入手できますか？

A **ログイン後画面（先生専用）に掲載しております。**  
従来の「株式学習ゲーム」では、短期的な株価の動きばかりに目がいきがちですが、肝心なことは株価の変動の背景になっている社会や経済の動きに目を向けることです。そのうえで株価を決定づけているのはその会社がどれだけの売上げや利益をあげているかといった「会社の業績」であることを理解していきます。このことを学習するための教材です。

※授業展開例で取り上げている「ワークブック【私たちの応援したい会社】」は、現在、データで提供しております。ログイン後画面（先生専用）に掲載しておりますので、そちらからご利用いただけます。

